

表1	充実(金額は公費 2015年)	重点化・効率化(金額は公費 2015年)
○医療・介護サービスの提供体制の効率化・重点化と機能強化 ～診療報酬・介護報酬の体系的見直しと基盤整備のための一括的な法整備～	・病院・病床機能の分化・強化と連携(急性期医療への医療資源の集中投入、亜急性期・慢性期医療の機能強化等による入院医療の機能強化、精神保健医療の改革、医師の偏在是正等) ○在宅医療の充実等(診療所等における総合的な診療や在宅療養支援機能の強化・評価、訪問看護等の計画的整備等)(8,700億円程度)	・平均在院日数の減少等(▲4,300億円程度) ○平均在院日数:2011年 19~20日程度 →2025年 高度急性期:15~16日程度 一般急性期: 9日程度 ○病床数:概ね現状水準 ○精神医療:2025年に在院日数1割程度減少
・地域包括ケアシステムの構築等在宅介護の充実、ケアマネジメントの機能強化、居住系サービスの充実等 ・施設のユニット化 (2,500億円程度)	・介護予防・重度化予防 ・介護施設の重点化(在宅への移行) ○要介護認定者数:2025年に現行ペースより3%程度減少	・外来受診の適正化等(生活習慣病予防、医療連携、ICT、番号、保険者機能の強化等) (▲1,200億円程度) ・ICTの活用による重複受診・重複検査、過剰な薬剤投与等の削減 ○外来患者数:2025年に現行ペースより5%程度減少
・マンパワー増強 (2,400億円程度)	・充実計(2015年) ~1.4兆円程度	・重点化・効率化計(2015年) ~0.7兆円程度

表2	充実(金額は公費 2015年)	重点化・効率化(金額は公費 2015年)
○保険者機能の強化を通じた医療・介護保険制度のセーフティネット機能の強化・給付の重点化、逆進性対策	a 被用者保険の適用拡大と国保の財政基盤の安定化・強化・広域化 ・短時間労働者への被用者保険の適用拡大 ・市町村国保の財政運営の都道府県単位化と併せ財政基盤を強化(低所得者保険料軽減の拡充等)(~2,200億円程度)	(=完全実施の場合▲1,600億円)
b 介護保険の費用負担の能力に応じた負担の要素強化と低所得者への配慮、保険給付の重点化 ・1号保険料の低所得者保険料軽減強化(~1,300億円)	c 高度・長期医療への対応(セーフティネット機能の強化)と給付の重点化 ・長期高額医療の高額療養費の見直し(長期高額医療への対応、所得区分の見直しによる負担軽減等)による負担軽減(~1,300億円程度)	・介護納付金の総報酬制導入(完全実施すれば▲1,600億円) ・軽度者に対する機能訓練等重度化予防に効果のある給付への重点化
d その他 ・総合合算制度(番号制度等の情報連携基盤の導入が前提) ・高齢者医療制度の見直し(改革会議のとりまとめ等踏まえ公平で納得のいく負担の仕組み) ・低所得者対策・逆進性対策等の検討	・後発医薬品の更なる使用促進、医薬品の患者負担の見直し(患者負担を見直す) ・国保組合の国庫補助の見直し ・高齢者医療費の支援金の総報酬制導入 ・70~74歳2割負担	・受診時定額負担等(高額療養費の見直しによる負担軽減の規模に応じて実施。例えば、初診・再診時100円の場合、▲1,300億円)
充実計(2015年) ~1兆円程度	・重点化・効率化計(2015年) ~0.5兆円程度	

一体改革で政府案

医療・介護で給付抑制の項目案

2015年までに消費税10%

6月末までに政府・与党による案を得たいとする菅内閣の、社会保障と税の一体改革の政府案が6月2日に公表された。

社会保障を支える安定的な財源を確保するため、消費税の使途を限定し、2015年度までに10%へ段階的に引き上げることを明記。このうち社会保障の充実には15年度時点で3・8兆円増、給付抑制で1・2兆円、差引2・7兆円を消費税率1%程度で賄うとする。

給付抑制は、医療・介護分野の重点化・効率化だけでなく、70~74歳の2割負担。

この改革案に対し協会は、垣田副理事長の反対を表明する談話を発表した。

課題別に充実項目と併せて重点化・効率化項目が並べられ、病院・病床機能の分化・強化と連携等による平均在院日数削減、外来受診の適正化等、介護予防・重度化予防、在宅への移行等が打ち出されている。

さらに、医療・介護保険改革で5000億円程度を現在の5%から10%に引き上げることを明記した。

社会保障改革案では、現状の問題点として世代間の負担と負担のアンバランスを挙げ、現役世代の先行きに対する不安感・負担感や将来世代への影響も考え、「世代間公平」を図っていく



原発はコスト高な電源 環境講演会で大島立命館大学教授が講演

協会は歯科協会と共催で、立命館大学国際関係学部・大島堅一教授を講師に迎え、「原発の本当のコストと再生可能エネルギーの方向性」と題して、5月21日に環境講演会を開催。参加者は131人となった。当初は、経済学の視点のみから講演を予定していたが、東日本大震災により発生した福島第一原発事故を受けて、事故の原因や概要についても解説。事故がなくても原発はコストの高い電源であるとの講演を受けて、活発な質疑応答も行われ、日本のエネルギー政策の問題点を再認識する機会となった。講演概要は3面。

2011年6月13日

「等を開催した。昨年と今年も「天木直人氏」の講演会と「ヤンミー」さん(女性ポーカーリスト)の講演会を企画している。クラシックの方も京響サロンの「サト」が定着し、昨年と今年も京都府庁日本館・正庁で開催して優雅なひとときを過ごした。文化講座では、宗教は、仏教、キリスト教、イスラム教について、歴史は「王申の乱」「平安京の実像」「室町時代の都市文化」「豊臣秀吉が愛した女たち」北政所・淀殿

協会は昨年9月、住み慣れた府医師会館から烏丸通の現在地に移転してきたが、短期間の新事務所探しや引越してそれなりに大変であった。府医師会館と離れることの不安感もあったが、京都の中心部にきて、新鮮な気持ちになったことも事実である。20人から70人位まで入れる会議室もあり、地区医師会や専門医会が使用される場合は無料(休日や夜間など事務局

新年度にあたって 総務部会

協会は5月末会員数は、2493人(開業医224

会議の在り方を見直し 協会活動をさらに円滑に

規開業数1338に対して、陸院153と減っており、新会員対策は重要である。年2回の「新規開業医のための基礎講習会」の他に新開業の医療機関を訪問

度機能強化する方向で取り組むとしている。そこには政府の責任で解消することには一切触れず、国民の「共助」での解消を強調する。

医療分野では利用者負担総合合算制度の導入や高額療養費制度の見直し、非正規労働者への健康保険の適用拡大等を提示したが、窓口定額負担の導入や医療提供体制の機能分化・集約化の強化、平均在院日数の減少等との抱き合わせで盛り込むなど、改革案は自公政の差を越え誰もが等しく医療を受けることとなる。

このような問題を持つ社会保障改革案を実現する財源として出された消費税増税に納得できないのは自明の理である。社会保障は応能負担の仕組みにより所得再分配の役割を担い、貧富の差を越え誰もが等しく医療を受けることとなる。

「共助」を強調し、国の責任を放棄していると言わざるを得ない。

「共助」を強調し、国の責任を放棄していると言わざるを得ない。

「共助」を強調し、国の責任を放棄していると言わざるを得ない。

京都 保険医新聞

購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162 京都市中京区烏丸通
蛸薬師上七町637 第41長栄
カーニープレイス四条烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容

被災者支援に赴いて② (2面)
大島堅一氏が原発コスト論 (3面)
開業の実践的アドバイス (4面)
舞鶴医師会と懇談 (5面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度(所得補償、傷害疾病保険)
- ◆積立傷害保険
- ◆自動車保険・火災保険

上記事業は(有)アミスが取扱っています。
☎075-212-0303

最近、説
明責任と
いう言葉が
頻りに使わ
れ、よく耳
にする。また「責任をとって
職を辞する」という言葉も同
様によく聞かれる。その度に
何かスッキリしない違和感
を感じていた。説明したり、
職を辞すれば責任は果たせ
るのか? 責任とはいったい
何なのか、いつも心の中でど
こか引っかかっていた▼「責
任」という言葉は英語では
「Responsibility」である。
責任以外にも義務という意
味もある。「Response」は
応答・返答・答え・反応とい
う意味である▼痛みを感じ
ている人がいる限り、その
痛みが消えるまでは
「Response」反応して答え
ていくことが責任でありそ
うすることが義務ではないの
だろうか? 痛みを癒すこ
とができるのではないだろう
か? 相手が痛みを感じるこ
となく癒されるまで責任を
負い続ける覚悟があるの
ではないか▼自分自身に省み
るところまでの覚悟ができ
るだろうか? ただ、負の経
験は何の前触れもなく突然
脳裏に浮かび上がってくる。
これも一つの責任の表れな
のだろうか▼薬害、ワクチ
ン被害、原発事故核汚染戦
争などさまざまな場面で痛
みを負う人が生まれてくる
▼現在私たちが社会は本
に果たしているのか? 問い
かけてみる必要がある。責任
を負うものが、国や政治で
あったり、組織が大きくな
ると責任の所在があいまいに
なり、政治が「責任を果たし
ていない」と判断したら責任
を全うさせる責任義務が私
たち国民にはある。(治)

第64回 定期総会 (第181回定時代議員会合併)

7月31日(日) 午後1時～ ホテルグランヴィア京都 (JR京都駅中央口)

I 第64回定期総会 (第181回定時代議員会合併) (13:00～)

①2010年度活動報告並びに決算報告 ②2011年度活動方針(案)並びに予算(案)承認

※参加申込は、返信用ハガキで7月16日(土)迄にご返送下さい。

II 講演「絶望と希望－民主化革命前夜の中東と日本を重ね合わせる」(15:15～)

講師：天木 直人氏 (元駐レバノン特命全権大使、作家)

III 懇親会 (音楽演奏・福引き) (17:00～19:00)

(会員：1,000円、家族・従事者：3,000円)

講演要旨

チュニジア、エジプトの革命をきっかけに中東の民主化が起きようとしていた時、日本を大震災と原発事故が襲った。この二つはまったく無関係のように見えるが、そこに歴史の共通性が見て取れる。その鍵は米国からの自立である。

中東は米国の支援を受けた独裁政権が国民を苦しめてきた。中東の民主化は不可能と誰もが思っていた中で、インターネットで結ばれた民衆が不可能を可能にした。翻って日本はどうか。政権交代した後も、米国と官僚によるこの国の支配構造が変わらなかった。格差が広がり、勝ち組が生き残る中で多くの国民は切り捨てられる社会となった。出口が見えない中で大震災と原発事故が起きた。そして国民が目覚めつつある。



講師プロフィール 1947年山口県下関市生まれ。1969年京都大学法学部中退、外務省入省。1972年米国オハイオ州オバリン大学政治学士取得。1988年内閣安全保障室審議官。1990年在マレーシア日本国大使館公使。1993年在豪州日本国大使館公使。1996年在カナダ日本国大使館公使。1997年在米国ミシガン州デトロイト日本国総領事。2001年在レバノン国特命全権大使。2003年8月イラク戦争に反対し事実上の解雇処分を受け外務省を離れる。その後自由な立場から言論活動を続ける。著書「さらば外務省！——私は小泉首相と売国官僚を許さない」(講談社)ほか多数。

再生に向かって進む地域の医療機関

仙台区・青葉区・若林区・泉区、石巻市、気仙沼市。保団連支援隊として訪問した地域です。目の前にはマスキングにより報道されていた光景が広がっています。テレビの画面から感じとれていなかったのは、臭いと埃です。沿岸部では魚の臭いがしており、津波でヘドロが押し寄せた地域では、乾いたヘドロが埃となって舞っていました。地域住民の方々には、くれぐれもマスクの着用をお願いしたいと思います。

そのような中、医療機関などを訪問し、見舞金をお渡しするとともに、連絡先や診療再開状況、再開予定などの聞き取りを行いました(5月10日～13日)。医療機関または自宅が流失、全半壊など、比較的被害の大きかったところを中心に回りました。期間中、34医療機関を訪問しましたが、移転し再開(予定)という医療機関はありませんが、幸い「診療を再開しない」と言われた医療機関はありませんでした。地域医療を再生させるという使命まで意識できる状況におおらかなうかがいませませんが、各医療機関の方々が、一歩一歩確実に前に進まれているという強い印象です。

保険医協会は開業保険医の団体です。いずれの訪問先でも、保険医協会・保団連の訪問を非常に歓迎していただきました。地域医療の再生に向けて動き出す

そのような中、医療機関などを訪問し、見舞金をお渡しするとともに、連絡先や診療再開状況、再開予定などの聞き取りを行いました(5月10日～13日)。医療機関または自宅が流失、全半壊など、比較的被害の大きかったところを中心に回りました。期間中、34医療機関を訪問しましたが、移転し再開(予定)という医療機関はありませんが、幸い「診療を再開しない」と言われた医療機関はありませんでした。地域医療を再生させるという使命まで意識できる状況におおらかなうかがいませませんが、各医療機関の方々が、一歩一歩確実に前に進まれているという強い印象です。

地域の医療機関を支えていることこそが、保険医協会・保団連に求められている仕事なのだと思えても、なかなかできませんでした。訪問活動を終えたある夜、仙台クリネックススタジアムまで東北楽天ゴールデンイーグルスの試合を観に行きました。結果は1対0で楽天の勝利。それまでの連敗を止める久々の勝利でした。前に向かって進む医療機関と楽天の勝利とを重ね合わせずにはいられない、震災からちょうど2カ月目の日のことでした。(花山 弘)

被災者支援に赴いて②

5月16日(日)宮城協会の支援に参加しました。降り立った仙台空港の周辺には片付けられた車が立ち並び、積み上げられた空箱・仙台駅間を結ぶバスが、北の上り線は、JR仙石線は東塩釜駅から先が不通で、そこから代行バスで向かいます。道路は残っていますが、津波被害の大きかった野蒜などは津波後そのままの光景です。石巻市内も、道路を塞いでいた瓦礫はとりのみならず、脇に寄せられています。話をつたつた先生は、診療所だった1階部分が天井まで浸かり、この2カ月、周囲からの再開を望む声も聞きながら、頑張ろう、いや

5月16日(日)宮城協会の支援に参加しました。降り立った仙台空港の周辺には片付けられた車が立ち並び、積み上げられた空箱・仙台駅間を結ぶバスが、北の上り線は、JR仙石線は東塩釜駅から先が不通で、そこから代行バスで向かいます。道路は残っていますが、津波被害の大きかった野蒜などは津波後そのままの光景です。石巻市内も、道路を塞いでいた瓦礫はとりのみならず、脇に寄せられています。話をつたつた先生は、診療所だった1階部分が天井まで浸かり、この2カ月、周囲からの再開を望む声も聞きながら、頑張ろう、いや

無理だと毎日のように気持ちが揺れつつ少しずつ片付けをしてきたが、最近ほとんど諦めているとおっしゃいました。それは、ここが人の住めない場所になれば、診療所のもので成り立たなくなるからとのこと。津波被害の深刻さをあらためて思いました。19日の地元紙に、県内136医療施設全壊、その内医科診療所68カ所との記事がありました。その前日には「県地域医療復興検討会」の初会合が行われたとあります。そこでは、病診含めた復興の方向性が示されていますが、都市計画からの立案が必要であり、相当時間がかかるでしょう。先の石巻の先生は、ご自身が地域医療を担ってきたという自覚をお持ちでした。このような一人ひとりの想いを大切に、地域医療の再生こそが必要と感じました。(樋下 光雄)

東日本大震災から3カ月が経過、未だ被災地は厳しい状況におかれています。協会でもできる限りの支援をしようと、募金(3面)や現地派遣を行ってきました。本紙第2785号でも一部掲載しましたが、今回は3人の事務局の参加記を掲載します。

5月3日から、理事長同行し、東日本大震災被災地支援活動に参加させていただきました。青森県保険医協会がコーディネートした岩手県の三陸沖で被災した方々に、青森市・浅虫温泉の「三日月館」でリフレッショングラウンドでの企画。2泊3日のサイクルで、毎日どこかの町の人がやってきて、また避難所に帰っていかれました。到着した日には大槌町の人たちが逗留されていました。関先生は早速、健康相談に従事されました。JMA T等を通じ、避難所にも医療スタッフは送られることなく支援に入っています。遠慮もあつて、なかなか診察を受けられないと

5月3日から、理事長同行し、東日本大震災被災地支援活動に参加させていただきました。青森県保険医協会がコーディネートした岩手県の三陸沖で被災した方々に、青森市・浅虫温泉の「三日月館」でリフレッショングラウンドでの企画。2泊3日のサイクルで、毎日どこかの町の人がやってきて、また避難所に帰っていかれました。到着した日には大槌町の人たちが逗留されていました。関先生は早速、健康相談に従事されました。JMA T等を通じ、避難所にも医療スタッフは送られることなく支援に入っています。遠慮もあつて、なかなか診察を受けられないと

2日目に被災地を訪問し、物資届け等を行いました。そこで見たこと、聞いたことは、すでに理事長が紹介されたとおりです。その他は、事務局は被災者の人たちに自動車に乗ってもらい、弘前の桜祭りや、

2日目に被災地を訪問し、物資届け等を行いました。そこで見たこと、聞いたことは、すでに理事長が紹介されたとおりです。その他は、事務局は被災者の人たちに自動車に乗ってもらい、弘前の桜祭りや、

復興構想は住民の声で

震災の日、彼女らは中学校で卒業式の練習中でした。合格した高校は津波にのまれたといわれています。明るい顔を思っていると思いますが、想像もできない傷を背負っていると考えたら、会話ができなくなりま

水族館へ行き、楽しんでもらおうとボランティアをやっていました。だから多くの被災された方々と触れ合うことができませんでした。子どもたちもいました。大槌町の仲良し2人組がいて、この4月に高校に入学生したばかりだと言っていました。

おかしな表現ですが、あの日から私にとって「被災地」に対する「匿名性」が薄まったように思います。報道で未だ目処の立たない「復興」の状況を見聞きする度、あの子どもたちを、いつしよに桜祭りに行つた人たちを思い出します。すると、たちまち自分の情緒が不安定になるようです。そういう気持ちからいよいよ減り抜けなければいけないうふうな思つ一方、そういう気持ちを忘れてはいけないとも思っています。

おかしな表現ですが、あの日から私にとって「被災地」に対する「匿名性」が薄まったように思います。報道で未だ目処の立たない「復興」の状況を見聞きする度、あの子どもたちを、いつしよに桜祭りに行つた人たちを思い出します。すると、たちまち自分の情緒が不安定になるようです。そういう気持ちからいよいよ減り抜けなければいけないうふうな思つ一方、そういう気持ちを忘れてはいけないとも思っています。

そういう物事の感じ方を根拠のようにして、今日も協会政策部会で仕事をさせていたでいます。これは、被災地に行かせることわなければ手に入れることのできなかったものだと思います。本日に、この機会をいただいたことに、感謝しています。(中村 曉)

もちろん、復興は国の責任で行うべきです。でもそれは震災を「チャレンス」に、国にとって都合の良い都市や産業の仕組みをつくって良いということではありません。被災地復興の構想を考える権利は、被災者だけが持っている。あの子どもたちが権利主体なのだと感じるので

開業を考える医師に実践的アドバイス 新規開業予定者のための講習会開く



新規開業予定者に講習

基礎知識の2点を中心に解説した。スタッフの採用にあたってまず大切なのは、「どんなクリニックにしたいか(経営方針・理念)」を明確にした上で、その方針に沿った人選を行うこと。スタッフの役割で最優先事項は何か、を考へておく。面接時に、身だしなみなどの注意を要するが法律上規制しづらい事項を伝えておくことも必要。雇用者には労働条件通知書を作成し、労働条件を明確にすることで、労使双方の共通認識が生まれる。労使トラブルの原因となる見解の相違、考え方の違いは、共通認識があれば回避できる。労働条件通知書の雛型は「医療経営と雇用管理」(全国保険医団体連合会発行)が参考となる。

経営方針に沿った雇用と法律遵守の管理を

新規開業を考えておられる勤務医を対象に、協会は5月28日に新規開業予定者のための講習会を開催した。共催は有限会社アミス。講習会は、①初めが肝心！スタッフ雇用の留意点、②先輩開業医からのアドバイス、③2題で講演。最後に北村理事から、地区

い。本採用に不安が残る場合、試用期間を延長し、雇用の問題点を指摘した上で、改善を求め、機会を与えることが大切。採用と、憲法25条「すべて国民は、健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有するに立脚した行為であり、生活の糧(給与)を奪う解雇は簡単に許されないこと」を念頭に置いておく。

開業理念もにみんなでクリニックを作る

金光宣旭氏より先輩アドバイス

2 講習は、かねみつ内科クリニック院長の金光宣旭氏より、開業時の経験、スタッフとの関係づくり、医院経営の工夫など、これから開業を目指す勤務医の方にアドバイスした。



金光 宣旭氏

開業には「強い想い」を基盤に、その上に理念・戦略・戦術が必要。強い想いは「みんなの笑顔がみたい」ということ。「笑顔のあふれるまちづくりの実現をめざす」という自院の理念をスタッフと共有化することが大切。戦略は、笑顔をつやさない、向上心をもつ、スタッフを大事にするなど。戦術には、P(Plan:計画)D(Do:行動)C

を調査し、重点的に広告するなどを検討している。院内では内視鏡アンケート、患者満足度調査を実施し、サービス提供に役立てている。内視鏡アンケートでは鼻の麻酔が痛いという意見も多く、経鼻にこだわることがないことも分かった。今後は職員満足度調査を予定。スタッフは開業当初、看護師、事務員すべて非常勤としていたが、スタッフのモチベーションなどを考慮し、現在は常勤者を3人にしている。スタッフ管理は大変難しいと実感。就業規則や賃金規定の作成をはじめ、情報共有化のために毎

有給休暇は法律上、常勤・非常勤の別なく付与することが定められており、給与と調整の上で付与する給与と調整の上で付与する方法もある。このように労使関係でも法律を遵守することで、安心してスタッフが働ける。さらに安心・安全な医療を患者さんに提供できる環境を作ることができる。

医院継承講習会開く

継承時の留意事項などを解説

親子間での医院継承や第三者間での医院継承時の税務関係や行政への手続きはどうなるのか等について、協会は3月29日に協会会議室で「医院継承講習会」を開催した。

継承時の留意事項では個人医院・経過措置型医療法人・基金拠出型医療法人別に解説した。個人では継承時に棚卸を実施すること、医療法人の継承では出資持ち分の整理が必要となる。役員員の退職金を活用すること、メリットを生かせることなどをアドバイスした。

また、2011年の税制改正大綱によると相続税・贈与税の半世紀ぶりの大改正で増税の方向が打ち出されている。しかし一方で、高齢者から若者への生前贈与を促すために優遇対象が孫にも拡大することが予定されている。これらの税改正を受けてスムーズな医院継承がとすればいいのかについて解説した。

税務記帳講習会開く

経営内容の把握は記帳から

協会は5月12日、協会会議室において山口稔税理士

を講師に税務記帳講習会を開催した。どんなに優秀な税理士に依頼していても、適切に記帳できていなければ経営状況を正確に見ることができないため、記帳する意義について解説し、実際の記帳実務を講習した。

記帳することは、正しい確定申告を行うためには必要不可欠である。また、記帳することによって日々の経営内容を把握し、所得を正確に把握することで経営判断が可能となり、事業借入の際の返済可能額や生活費、いわゆる可処分所得が

導き出せる。そうすることが節税や経営改善につながることを解説した。また、金銭出納帳の記帳方法や、銀行帳の記帳方法、経費の仕分けについての考え方、未収金の計上方法などについても解説し、自院で記帳することが経営判断する上でいかに重要であるかを解説した。質疑応答では、タクシードの経費参入についての考え方や専従者給与についての考え方など経費に関して活発に意見交換がなされた。

保団連 病院・有床診療所セミナーのご案内

- 【主 催】 全国保険医団体連合会
- 【日 時】 8月20日(土) 18:30~21:00 21日(日) 10:00~15:00
- 【会 場】 大阪・なんば 大阪保険医協同組合M&Dホール 他 (大阪市浪速区幸町1-2-34) 地下鉄御堂筋線なんば駅より10分、四つ橋線なんば駅より5分
- 【参加費】 両日参加 (1人8,000円)、1日のみ参加 (1人4,000円) ※同一法人2人目以降は、両日参加6,000円、1日参加3,000円
- 8月20日(土) 18:30~21:00 (全体会議) (大阪保険医協同組合M&Dホール)
 - 基調提案 安藤元博 保団連病院有床診療所部長 ※2012年診療報酬改定など、入院医療をめぐる動きと保団連の取り組み
 - 記念講演 「2次医療圏をもとに医療提供体制を考える」 講師 国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 高橋 泰 教授 ※『社会保険旬報』連載「2次医療圏をもとに日本の医療提供体制を考える」を踏まえ、将来の医療提供体制についての分析と今後のあり方について講演
- 8月21日(日) 10:00~12:00 (全体会議) (大阪保険医協同組合M&Dホール)
 - 講 演 「東日本大震災を踏まえ、全国の病院・有床診療所が取り組むべき今後の課題」 講師 保団連 地域医療対策部会 医科部長 中島 幸裕 氏 ※東日本大震災による医療提供体制の復旧・復興の現状と、震災時に病院・有床診療所がどのような対応をすべきか、今後の課題が明らかに
- 8月21日(日) 13:00~15:00 (分科会)
 - 病院分科会 (大阪保険医協同組合M&Dホール) 学習会「病院の適時調査の対応のポイント」 講師 保団連 病院対策事務局小委員 花山 弘氏、大谷 学氏 ※病院で増加している適時調査の実態と対応方法を解説
 - 有床診療分科会 (大阪府保険医協会5階会議室) 交流・協議「有床診療所の未来を切り開こう」 ※有床診療所における医療上の努力(特徴)や経営上の工夫と現状、厚生労働省への要求等を3人の演者から報告。厳しい情勢を切り開いていくための討論と活動交流
- *申込・お問い合わせは、京都府保険医協会(☎075-212-8877, fax 075-212-0707) ご連絡いただければ、詳しい案内、申込用紙をお送りします。(申込締切: 8月1日)

第26回 保団連医療研究集会

参加者募集

- 【主 務】 熊本県保険医協会 【主 催】 全国保険医団体連合会
- 【日 時】 9月17日(土) 18:00~21:00 9月18日(日) 9:00~15:30
- 【会 場】 熊本全日空ホテル ニュースカイ (熊本市東阿弥陀寺町2 ☎096-354-2111)
- 【主な内容】
 - <17日> 記念講演 (18:10~) 「広がる貧困と医療に求められること -医療への期待と医師の自律」 弁護士・反貧困ネットワーク代表 宇都宮 健児 氏
 - <18日> 分科会 (9:00~12:00) ポスターセッション (9:00~15:00) 13:00~15:30 市民公開シンポジウムI 「医療連携の光と影」 市民公開シンポジウムII 「子どもの虐待」 医療安全シンポジウム 「診療所におけるヒヤリ・ハットと効果的な取り組みを考える」
- 【参加費等】
 - 医師 8,000円 ○コ・メディカル 500円
 - ◎レセプション(17日) 10,000円 ◎昼食代(18日) 2,000円
- 【参加申込】 申込、お問い合わせは京都府保険医協会まで。申込締切は8月12日。



メイン 医療再生

クさせている。これらは病院で行うことと同じで、みんながクリニックを作るという雰囲気づくりが重要。これらを実践すること、開業当初に比べてスタッフの意識の変化を実感している。勤務医の方が精神的には楽な面もあるが、もがきながら前に進むしかない。悩んだ時や判断に迷った時は、細かいことごとさらには、理念に戻るようにしている。

消化器疾患の初期診断と治療で講演

消化器診療内容向上会を京都消化器医学会、エーザイ株式会社、京都府保険医協会の共催で4月2日開催、64人が参加した。

消化器診療内容向上会レポート

当日はレクチャーと症例引き続いて、協会医療安全検討会が催された。レクチャーでは、京都医療センター「大腸内視鏡偶発症における医事紛争の対応」について講演。大腸内視鏡分野に



2 題目として、幼時に腸重積のため横行結腸回腸吻合術を受けた症例で吻合部より遠位の回腸部に生じた病変が検討された。これも1 題目と同様難しい症例であった。病理診断は「大腸非特異的炎症」であった。病理出しに際して採取部位ま

て、ここまでではどう考えるかを詳細に討議し、つづつ診断の範囲を狭めていき、最後に病理診断が示された。1 題目は潰瘍性大腸炎に大腸癌が合併した症例であったが、内視鏡的には特徴的所見は認め難く、なかなか難しい症例であった。治療は大腸全摘だが、多くは患者側から拒否され、原則全摘を十分説明したにもかかわらず部分切除に至った経緯をカルテに記す必要性など、後半のレクチャーにも関連するが、対応の困難さにも話題が及んだ。

基金国保	8日(金)	9日(土)	10日(日)	労災	12日(火)
	○	○	◎		◎

※○は受付日、◎は締切日。午前9時～午後5時。

7月の相談室

開催日の3日前までに協会事務局へお申込み下さい。30分間無料。

- ◆**ファイナンシャル**
7月21日(木)午後1時～
担当 三井生命のFC
- ◆**法律**
7月21日(木)午後2時～
担当 竹内建築士
- ◆**雇用管理**
7月21日(木)午後2時～
担当 江頭弁護士
- ◆**経営**
7月27日(水)午後2時～
担当 外村公認会計士

融資 上半期 新規借入の利率決まる

協会の制度融資(開業医・病院・勤務医融資)新規借入の利率については、毎年6月1日、12月1日に見直しを行っています。2011年6月～11月委員会決定分の利率は下表の通りとなりました。融資のご利用に関しては、協会経営部までお気軽にご相談下さい。

京都府保険医協会融資幹旋利率表

2011年6月～11月委員会決定分

種別	制度名	限度額(万円)	返済期間(年)	利率(年%)
開業医融資	設備資金	13,000	20	0.75
	長期運転資金	1,000	5	0.65
	中期運転資金	1,000	3	0.60
	短期運転資金	1,000	1	0.60
病院融資	子弟教育資金	3,000	10	0.85
	病院設備資金	50,000	20	1.25
	病院運転資金	3,000	3	1.05
勤務医融資	新規開業資金	6,000	20	0.95
	勤務医設備資金	2,000	20	1.05
	勤務医子弟教育資金	2,000	10	0.85
	勤務医生活安定資金	500	3	0.60

占領下の「総合原爆展」

川合 一良 (下西)

敗戦直後の1951年、世界で初めての総合的な原爆展が京都で行われた。今、東日本大震災による核の被害が大きな問題となっている現在、この展示を紹介したい。

今、何故原爆展か

被爆者は年々減少し、被ばく体験の継承が大きな課題となっている。これは、あの悲惨な原爆被害が二度とあってはならないというためであるが、それだけではない。内部被曝によるDNAの損傷は、後世に重大な障害を引き起こすかもしれない懸念を否定できないからである。



「総合原爆展」の経緯 戦後僅か5年にして強行された再軍備は国民に大きな衝撃を与えていたが、1950年11月30日、米大統領トルーマンは「朝鮮戦線で原爆使用もありうる」と発表し、世界を震撼させた。事態を重視し

という公共の場です市民を対象とし、しかも原爆被害を多方面から総合的に示した展示はわが国で、つまり世界で初めてのものであった。

た京大学生は、翌年の学内文化祭で医・理両学部自治会がそれぞれ別個に原爆展を行ない、同学会は天野重安(医・木村毅一(理)両助教授による原爆講演会を開催したが、これらの催しは学内外の大きな反響を呼んだ。そこで広く京都市民にアピールしようとして行われたのが、この「総合原爆展」である。京大当局は関知しないとの態度であったが、多くの教官が協力した。丸物百貨店が会場を買った。丸物百貨店が会場を買った。丸物百貨店が会場を買った。

注 丸物百貨店 京都タワー北側。77年京都近鉄百貨店となり、現在同地は三ツ巴シカモラ。

シンポジウム
3・11後の日本で福祉国家を展望する
社会保障基本法・憲章の提起を通じて

[報告者] 井上英夫・後藤道夫・渡辺 治 (ほか調整中)
(金沢大学教授) (都留文科大学教授) (一橋大学名誉教授)

主催 福祉国家と基本法研究会・福祉国家構想研究会
お問い合わせ先
全日本民主医療機関連合会…☎03-5842-6451
全国労働組合総連合…☎03-5842-5611
東京社会保障推進協議会…☎03-5395-3165
東京自治問題研究所…☎03-5976-2571

2011.7.10(日)
明治大学リバティホール
午後1:15~4:30

参加費 1000円

近刊のご案内(9月初旬)
新たな福祉国家を展望する—社会保障基本法・憲章の提起
福祉国家と基本法研究会・井上英夫・後藤道夫・渡辺 治 編著
A5判/並装/176頁 定価1,365円(税別) 毎冊社刊

前川春郎氏(享年87、左) 謹んで哀悼の意を表します。

岡本裕光氏(享年75、山科) 6月11日(逝去)。
尾張義樹氏(享年83、福知山) 6月14日(逝去)。